生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	**肝疾患における血中 Protein kinase C (PKC)delta と病態との関連性**		
1. 研究の目的と方法	慢性肝炎、肝硬変または肝がん患者さんの血液中 PKCdelta を含めた細胞外に分泌されるタンパク質を測定することにより、慢性肝疾患および肝がんにおける肝臓の線維化の進行や肝発癌予測の指標になるかどうかを検討します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2031 年 7 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	研究機関:東京慈恵会医科大学附属病院 対象となる方:慢性肝炎および肝硬変(ウイルス性、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、原発性硬化性胆管炎、アルコール性、MASLD:代謝機能障害関連脂肪性肝疾患(旧 NAFLD:非アルコール性脂肪性肝疾患), MASH:代謝機能障害関連脂肪肝炎(旧 NASH:非アルコール性脂肪肝炎))または肝がん(肝細胞がん, 胆管がん, 転移性肝がん, 混合型肝がん, 肝芽腫, fibrolamellar hepatocellular carcinoma) 転移性肝がんのコントロールとして肝転移のない消化器がん(食道がん、胃がん、大腸がん、胆管がん、膵がん)と診断された患者さんが対象です。ボランティアのみなさんも健常人正常コントロールとして、患者さんのデータと比較検討します。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	血液	
	(2)試料の取得の方法	診療や他の研究で使用し保管されている余剰試料	
	(3)情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、内視鏡検査などの検査結果）	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　消化器肝臓内科講座
		氏名	及川　恒一
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	＜共同研究機関＞ 富士レビオ株式会社　取締役　研究開発部門長　青柳　克己	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究で収集・取得された試料・情報は患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、共同研究機関（富士レビオ株式会社）に以下の方法で送られ、詳しく解析されます。 提供方法：追跡可能な方法で郵送、パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付いたします。 「情報の利用開始日」2017 年 9 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　消化器・肝臓内科講座 研究責任者：准教授　及川　恒一（おいかわ　つねかず） 電話番号：03-5400-1272（直通） 03-3433-1111（内線 3208） 対応時間：平日 9：00　～　16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。